

# テックドクターによる現地調査(西臼杵郡日之影町大字七折)

令和4年9月の台風14号における大雨により19日に九州中央自動車道 日之影深角IC(西臼杵郡日之影町大字七折)の道路において、法面崩壊が発生。現地状況の詳細な把握を行うため、30日にTEC-Doctorによる現地調査を実施した。

- ・開催日: 令和4年9月30日
- ・参加者: TEC-Doctor(宮崎大学 横田名誉教授、末次教授)、延岡河川国道事務所、延岡高速道路維持出張所、点検コンサルタント

## ● テックドクターによる調査(令和4年9月30日)

崩壊箇所全景  
(被災直後)



崩壊箇所  
(被災直後)



TEC-DOCTOR  
現地調査状況



### ◆テックドクターの崩壊メカニズムについてのコメント<2022.9.30> (宮崎大学 横田名誉教授、末次教授)

- ・ 植生が生育していない箇所及び周辺に基盤材が流出している箇所を確認した現地状況から、最大時間雨量40mmの降雨にて基盤材が流出した後に、側溝断面が閉塞したことにより排水の流下能力が低下しオーバーフローしたことで崩壊したと考える。
- ・ また、当該法面は切土勾配1:1.2と緩く、浸透率の低い地質(火山灰質粘性土)であることから切土法面の表面水の影響を受けやすい状況であり、かつ降雨を受ける面積も周辺法面と比べ広いことから基盤材の流出がしやすい環境にあったと考える。